

【専門科目領域/専門科目群/老年看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等																		
老年看護学実習 (高齢者生活支援)		必修	2	2	後期																		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー																				
山崎 さやか 他	411	s.yamazaki	学内実習日 16:00~17:00																				
授業の目的・概要	超高齢社会の進展や医療技術の進歩などの背景と社会保障の現状を理解した上で、高齢者の療養の場と日常生活の場である施設等の見学を通して地域で暮らす人々を生活者として理解するとともに、健康のあり方について考える。様々な施設を利用している対象者に対して行われているケアについて実践を通して学びを深め、その人らしい生き方を支援するケアについて学修する。																						
学習上の助言	老年看護学概論、老年看護援助論を復習すること。																						
教科書	<ul style="list-style-type: none"> ・ナンクグラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 第6版 /編:堀内ふき 他 /発行:2021 (1年次に購入した教科書) ・ナンクグラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 第6版 /編:堀内ふき 他 /発行:2023 (老年看護援助論で購入した教科書) <p style="text-align: right;">[2冊指定]</p>																						
参考書	特になし																						
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針																				
①	老年期にある人の身体的・心理的・社会的特徴を理解できる。		NS (3)																				
②	老年期にある人に特徴的な健康障害と疾病と、看護について理解できる。		HSU(3),NS (3)																				
③	老年期にある人を支える制度と社会資源を理解できる。		HSU(2),NS (2)																				
④	老年期にある人を取り巻く社会保険福祉の役割と連携を理解できる。		HSU(3)(4),NS(2)																				
⑤	老年期にある人を尊重する態度を示すことができる。		HSU(1),NS(1)																				
⑥	実習に対して主体的に取り組み、規律を守ることができる。		HSU(4)(5),NS(5)																				
授 業 計 画																							
<p>1. 実習時期・期間・時間 実習時期：2年次 後期、実習期間：2週間 実習時間：9:00~16:00</p> <p>2. 実習場所・実習グループ 実習要項参照</p> <p>3. 実習展開</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>週</td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> </tr> <tr> <td>1週目</td> <td>オリエンテーション</td> <td>学内実習</td> <td>臨地実習</td> <td>臨地実習</td> <td>臨地実習</td> </tr> <tr> <td>2週目</td> <td>臨地実習</td> <td>臨地実習</td> <td>臨地実習</td> <td>学内実習</td> <td>学内実習</td> </tr> </table> <p>4. 最終提出物 各個人で実習評価表、実習記録一式、課題レポートを提出する。</p> <p>*その他の詳細は、実習要綱参照。</p>						週	月	火	水	木	金	1週目	オリエンテーション	学内実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	2週目	臨地実習	臨地実習	臨地実習	学内実習	学内実習
週	月	火	水	木	金																		
1週目	オリエンテーション	学内実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習																		
2週目	臨地実習	臨地実習	臨地実習	学内実習	学内実習																		
学習課題・学習時間 (時間)																							
老年看護学概論、老年看護援助論で学んだ知識を復習して実習に取り組むこと。																							
必要時間： 40時間																							

【専門科目領域/専門科目群/老年看護学】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	60	30	0	10	100
総合力指標	知識・技術力	0	20	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	0	20	5	0	0	25
	協調性・リーダーシップ	0	0	5	0	0	5
	発表・表現伝達する力	0	10	5	0	0	15
	コミュニケーション力	0	0	5	0	0	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	5	0	10	15
問題を発見・解決する力		0	10	5	0	0	15
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	実習記録、レポートは自己の考えを記述することを重視する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
成果発表	①		相手が理解しやすいプレゼンテーションの内容および方法を評価する。				
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①		実習への取り組みを総合的に評価する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥	✓					
備 考							
他担当教員	佐野 宏一朗						
教員の実務経験	科目責任者は、病院、有料老人ホーム、へき地巡回診療における看護師としての臨床経験を持ち、他の教員も看護師として豊富な臨床経験を有する。						
実践的授業の内容	高齢者看護の経験を有する教員が、実習体験と座学での知識を結び付けて考えることができる実習を目指す。						
その他	特になし						